

ヨハネの福音書 第10章 11節

「わたしは、良い牧者です。良い牧者は羊のためにいのちを捨てます。」

世界宣教を始められた主イエス・キリストは、その先に受難の道のりがあることを承知していました。やがて、弟子たちに見捨てられ、世に捨てられ、十字架の丘で、ご自身のいのちを、自ら捨てる時が来ることを承知していました。その道避けることなく、踏み外すことなく、従順に生きぬかれました。ただ、羊のためです。

ご自分が良い羊飼いである、と宣言された通り生きました。それが、羊のためにいのちを捨てる道となりました。あの十字架で捨てるためでした。そして、この歩まれた道が、羊たちに宣言された死を超える牧者である示しとなりました。死の恐怖に追い立てられるように、不安を抱えたまま生き迷う羊たちに、死を超えるいのちをくださる道筋を確かにしてくださいました。ご自身がいのちを捨てる良い牧者、と世に現わすことによってです。

いつの時代においても、そして、この時代に在って、迷う羊なる、小さき私たちにとって、「大なるわたし」と共に居て、歩める日々は幸いです。「大なるわたし」が語りかけます、「わたしは、良い牧者です。いのちを捨てて私たちを救います。」大牧者について行けばよい。